

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
 「人から信頼され、何事も徹底してやりぬくたくましい子」の実現へ向けて ・小中をつなぐ学力を身につける。 ・自信をもって、主体的に行動する。

堺市立 福泉上 小学校
 校長 那賀 典仁

令和7年度 重点目標 重点目標「確かな学力、豊かな心、健やかな身体とのれた児童の育成」
 ①「文武両道」をめざして —「勉強と運動」にしっかり取り組む姿勢を育む
 ②「思いやり・やさしさ」をめざして —「あたたかい気持ち」を持った子どもを育てる
 ③「ABC作戦」の実践 — A:あいさつ、B:ベル着(チャイム着席)、C:クリーン(掃除)を実践できる子どもを育てる

確かな学びの現状
 ・学習に対する意欲をもつ子どもたちが多く一方で自分の考えに自信がない、表現することが苦手だと感じる子もいる。
 ・ICT機器の活用率はどの学年も高いが、自分の課題を解決する方策としてどのように活用するかを考えて使用する子どもは少ない。
 ・自ら進んで読書をする子どもが少なくなっている。
 子どもが自分事として問題を解決していこうとするための取組や授業改善が必要である。

豊かな心・健やかな体の現状
 ・学習や休憩時間の遊びにおいてアイデアや行為について肯定的に受け取る子どもがいる中、否定的な言葉をかけトラブルになる場合がある。
 ・素直で人懐っこい子どもたちが多く、あいさつも増えている。一方で場をわきまえた行動が苦手な子もいる。
 ・課外活動については、ひたむきに取り組んでいる子どもが多い。
 ・コロナ以降、体力向上の様々なプランを実行しているがなかなか以前のように戻っていない。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし) 児童アンケートは7割をめざす	評価方法	評価時期	進捗確認	達成状況(年度末)						
								自己評価	学校関係者評価					
確かな学び	授業改善・学力向上・ICT活用	課題や学びを自分事としてとらえ主体的・協働的に解決していく子どもの育成と授業改善	●子どもが学びたいと思う課題の持たせ方・設定の研究	・研究授業時における協議内容	・子どもの様子やノート ・授業	適宜	◎	校内研修を積み重ね、子どもが自ら課題を解決しようとする授業づくりが進んでいる。	◎	令和6年度に「授業がわかりやすい」と回答した児童が90%、少人数の指導がR6は33%→R7 91%と顕著な結果がでているので、取組を評価する。 「授業がわかりやすい」と答えた児童は多かった。今年も先生方一人一人の力をつけていただき、どの先生でも子どもたちが楽しんで授業で学ぶように願っている。				
			子どもが自ら、自分の学びをふりかえり次の目標を立てることのできる環境設定	・子どもの取組の様子、ノート のふりかえり欄内容	・子どもの様子やノート ・授業	適宜	○							
			課題解決に伴う自分なりのICT活用	・課題解決時のノート内容 ・授業の様子	・児童用アンケート ・授業	適宜	○		○		○	○	○	○
			全国学力調査、すくすくウオッチの調査の分析と対応策を考え取り組む。	・結果分析、改善点記録内容 ・子どもの取組の内容や様子	分析報告	テスト結果後	○		○		○	○	○	○
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	読書活動の活性化	週1回読み聞かせ活動、上小読書100選の見直し、図書館環境整備	・活動実践報告内容 ・整備内容の記録	・児童用アンケート ・実践報告	年度末	◎	学校図書館にPCを導入し整備を進めている。道徳実践の報告や挨拶運動など継続して取り組んでいる。	○	道徳の授業について、各学年で参観を行ったことは評価。全校朝会や学年集会での取組も明記すればよい。 地域での過ごし方なども道徳で学んだことが実際に実践できたらいと考える。				
		人権・道徳教育の充実	計画的な道徳の授業実践と参観における各クラス1回の道徳授業 校内授業公開(1回)	・年間指導計画 ・授業の様子	・指導計画 指導案等	適宜	○							
		あいさつ習慣の確立とエリア拡大	校外や登下校時のあいさつを心がける。地域の方々にも積極的にあいさつする。	・地域の方からの聞き取り ・地域への見回り	聞き取り	適宜	○							
体力向上	体力向上	楽しく学べる体力向上の実践	体力テストの結果分析と対応策に取り組む。	・結果分析、改善点記録内容 ・子どもの取組の内容や様子	分析報告	テスト結果後	◎	新体力テストの結果から、子どもたちの体力向上に継続して取り組んでいる成果が表れていると考える。	◎	来年度数値目標を掲げて行うとさらに評価しやすい。 楽しく体を動かして体力向上になる取組を今後も考え続けてほしい。 こどもに前年度の記録や全国、市の平均を示した上で取り組んでみると、目標が持てるのではないかと。				
		体育活動行事の実践	水泳、持久走、縄跳び等体育的行事と休み時間、校外学習による遊びを活用した体力向上の取組を行う。	体力向上の計画内容(ねらい等)	実践報告	年度末	◎							
地域協働	地域協働	家庭・地域と一丸となった学校での子どもサポートづくり	地域人材の活用、地域との連携による学校教育、地域への発信	学校HPを毎日発信 地域人材を活用	実践報告	年度末	◎	学校HPを毎日更新することで情報発信を行っている。毎日食育担当より放送を入れたり、ポスターを活用したりし、興味関心を深めている。	◎	学校ホームページの発信、食育ポスターの継続について評価。 学校で行っていることやこどもたちの様子を毎日HPで更新してくれているので、引き続き発信していただきたい。また地域老人会との交流等もありがたい。				
		食育の充実	食育ポスターを活用した子どもへの食育。生活や学びに生かす。	アンケートで検証。ポスターを毎回見ている児童8割をめざす。	アンケート	年度末	◎							

校長より(年度末)
 学びに対して、校内研修で教員の指導に対する意識が変わってきている。少しずつ実践にも表れてきている。学校図書館での課題の一つであったハード面が解消できた。来年度より読書の必要性や興味関心の持てる蔵書の取り入れを図る。体力向上に関しては、ここ数年取り組んでいるが、なかなか効果が表れないため新たな取組または内容の変更が必要とされる。食育に関しては、これからも続けていきながら食に関する関心と知識を育むことが必要となる。

学校関係者評価者から(年度末)
 地域のこどもたちのために様々な取り組みを行っていることが見え、大変ありがたい。その一方で、何年か継続的に取り組んでいる内容の中には、成果が停滞しているものもある。その部分をいかに少しずつでも前に進めるかについては、先生方のこれからの取組、手腕に期待している。